株式会社たけびし

証券コード：7510

会社説明会資料

たけびしの歴史

1926年	大阪で「九笹商業」として設立
1930年	京都市に本社を移転
1931年	「株式会社 竹菱電機商会」に商号変更
1996年	株式上場
1996年	中国（香港）に関係会社設立
1999年	（株）フジテレコムズを買収
2006年	「株式会社 たけびし」に商号変更
2006年	中国（上海）に関係会社設立
2014年	タイ（バンコク）に関係会社設立
2014年	オランダ（アムステルダム）に関係会社設立
2018年	中国（深圳）に 連絡事務所開設
2020年	梅沢無線電機（株）を買収

ネットワーク（拠点・関係会社）

国内	7支店1営業所
	関係会社5社
海外	関係会社5拠点

国内

【支店・営業所】

東京支店	栗東支店
甲府営業所	畿北支店
名古屋支店	大阪支店
滋賀支店	九州支店

【関係会社】

- ㈱フジテレコムズ（大阪市）
- ㈱ファーストブレイン（東京都）
- ㈱ＴＳエンジニアリング（京都市）
- 竹菱興産㈱（京都市）
- 梅沢無線電機㈱（東京都）

海外

- 竹菱香港有限公司
  - 深圳連絡事務所
- 竹菱（上海）電子貿易有限公司
- TAKEBISHI（THAILAND）CO.,LTD.（ﾀｲ）
- TAKEBISHI EUROPE B.V.（ｵﾗﾝﾀﾞ）

梅沢無線電機株式会社（2020年4月1日　M&A実施）

創業 1947年　　売上19億円（2019年度）　　拠点：東京、札幌、仙台

２０１９年度　実績

主力のFA機器が低迷したことに加え、2018年度に大口特高案件があり、
診断装置等のNEWビジネスが拡大したものの補えず

単位：億円

	2018年度	2019年度	前 年 比
売　　上	833.8	742.7	△91.1　（△11%）
荒　　利	114.6	101.4	△13.2　（△12%）
%	(13.7%)	(13.7%)	
販売管理費	76.2	76.4	+0.2　（+0%）
営 業 利 益	38.4	25.0	△13.4　（△35%）
経 常 利 益	39.2	25.8	△13.4　（△34%）

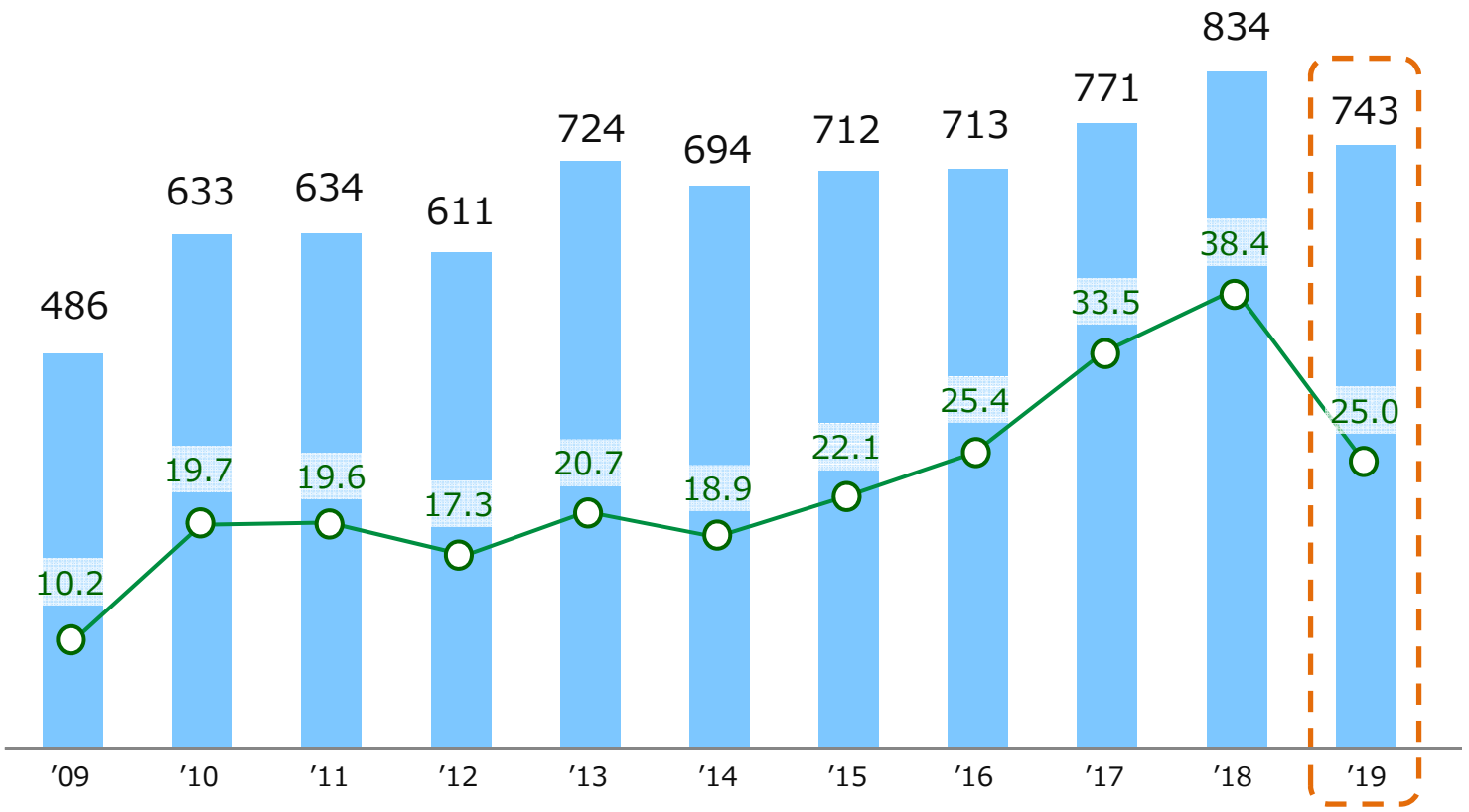
セグメント別 売上・営業利益

単位：億円

売上（営業利益）	2018年度	2019年度	前年比	増減要因
産業機器システム	389 (26.4)	312 (13.8)	△77 (△12.6)	FA機器 ：受配電関連が増も半導体関連を中心に減 産メカ ：前年 ﾏｲｸﾛﾚｰｻﾞ大口案件あり
半導体・デバイス	185 (5.1)	176 (3.3)	△9 (△1.8)	半導体 ：産業機器関連向け 減 デバイス ：海外ODM(ｾｷｭﾘﾃｨｶﾒﾗ)増
社会インフラ	170 (4.4)	171 (5.3)	＋1 (＋0.9)	医療 ：CT、MRI、がん検査薬製造装置 増 重電 ：前年 大口特高受変電設備あり
情報通信	90 (2.5)	84 (2.6)	△6 (+0.1)	携帯電話 ：FB社買収、ｼｮｯﾌﾟｱﾌﾟﾘ拡大等で事業ｼﾌﾄを進めるも携帯減を補えず 情報ｼｽﾃﾑ ：Windows7更新需要の捕捉で増
合計	834 (38.4)	743 (25.0)	△91 (△13.4)	

２０１９年度 実績（売 上・営 業 利 益）

単位：億円



配当金	10.0円	14.0円	16.0円	17.0円	18.5円	23.0円	26.0円	35.0円	40.0円	48.0円	48.0円
配当性向	25%	19%	22%	24%	22%	29%	28%	28%	25%	28%	43%

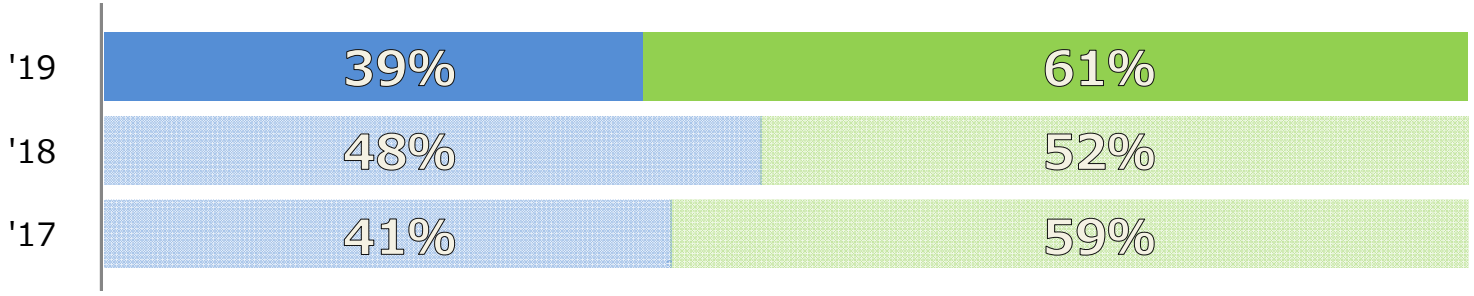
２０１９年度 セグメント概況（三菱製品・パートナー製品）

三菱製品　292億（△109億）

FA機器	176億	（△27億）
冷住	35億	（+0億）
重電	25億	（△37億）
デバイス	22億	（△3億）
産メカ	14億	（△35億）
その他	20億	（△7億）

パートナー製品　451億（+18億）

デバイス	97億	（+1億）
医療装置	86億	（+43億）
携帯電話	61億	（△7億）
半導体	52億	（△6億）
装置システム	48億	（△3億）
オムロン	30億	（△3億）
その他	77億	（△7億）



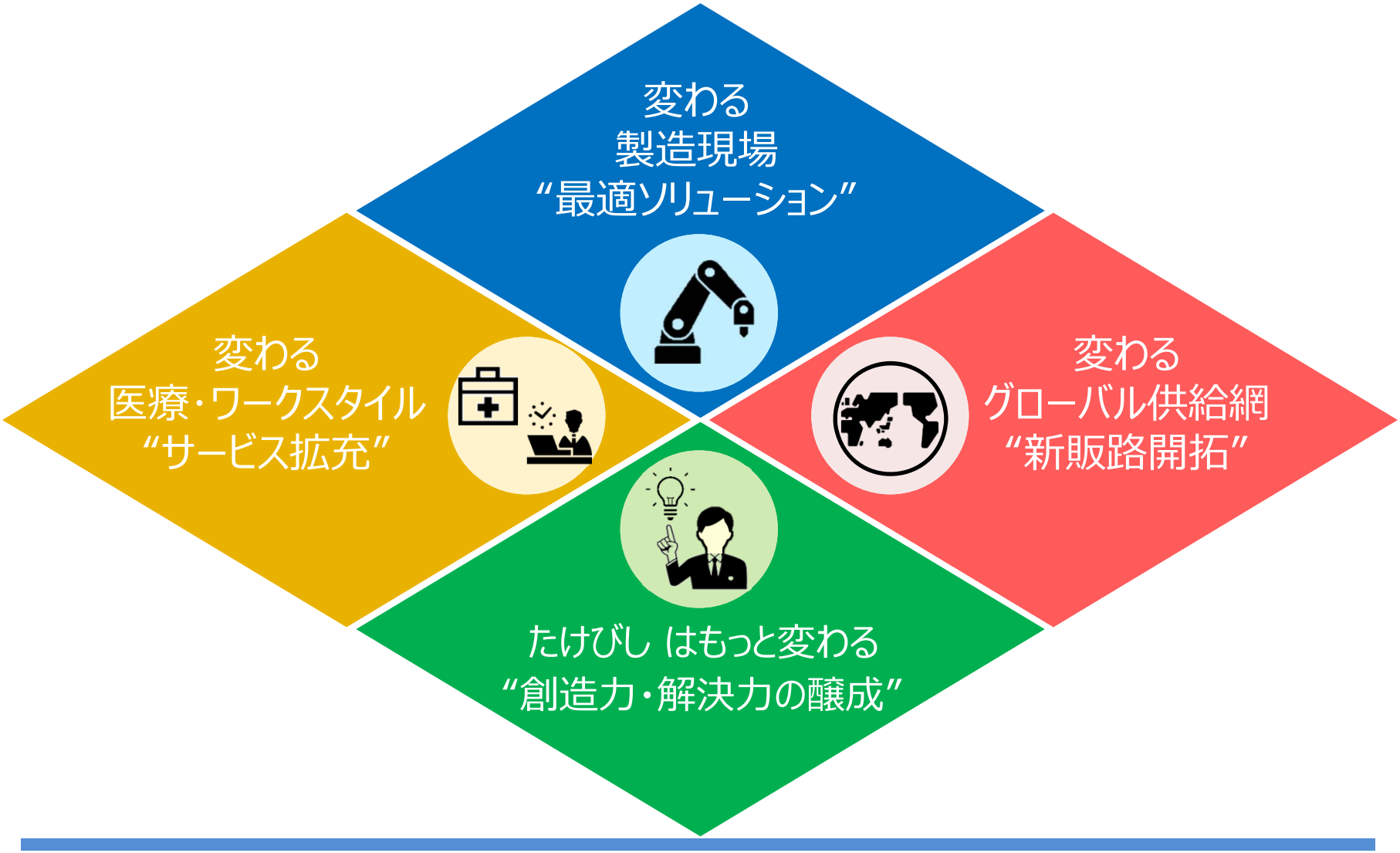
2020年度について

- 現在の経営環境に対応した緊急対策を実施中
  （販売管理費の削減）

- Afterコロナにおける
  新常態（ニューノーマル）への適応

  ➡ “NEWたけびし” への革新を図る

“適応と進化” 4つの成長戦略



変わる医療・ワークスタイルへのサービス拡充

			2022年度（2019年度比）
医療	診断装置	・診断装置ビジネスの拡大 （感染症関連需要の獲得） 取扱いメーカー：ｼｰﾒﾝｽ他 計24社 CT・MRI・PET	+12億
	がん治療装置	・豊富な販売実績（累計120台）を有する放射線がん治療装置の更新需要の獲得 放射線がん治療装置	
ワークスタイル	ＩＣＴ	・販売・生産管理システムの納入実績を活かしたクラウドビジネスの拡大（クラウド版 販売・生産管理） ・当社の機動力を活かし、売れ筋商材をターゲットとしたeコマースビジネスへの取組み（モニター他ＰＣ周辺機器）	+3億
	5G	・工場・オフィスビル向けローカル5Gビジネスの拡大（基地局、ネットワーク機器） ・ファーストブレイン・梅沢無線連携による5G関連ビジネスの拡大（基地局向けデバイス等）	+4億

変わる製造現場への最適ソリューション

			2022年度（2019年度比）
省人化	装置システム	・生産拠点の国内回帰に伴う自動化需要の獲得 ➢ 感染症対策 製造業向け協働ロボットの拡大 ➢ 既存SIパートナー(50社)の技術力強化支援と新規パートナー開拓による提案力強化	+67億
	AI	・化学・薬品・素材を始めとした幅広い分野へのAIソフトウェアの拡販 ・オリジナル製品を活用したAI・IoTトータルソリューション（異常・予兆検知、劣化診断　等）	+2億
環境負荷軽減	脱プラ	・食品容器、OA機器等へのバイオマスプラスチックの拡販（レジ袋、生鮮トレー、PC筐体 等）	+2億
	再エネ	・蓄電池向けパワコン、風力発電向け機器の販売実績を活かした再エネ関連ビジネスの拡大	+9億

変わるグローバル供給網への新販路開拓

			2022年度（2019年度比）
ベトナム	FA デバイス	・製罐、制御盤のOUT-INビジネス、及び大手日系家電メーカ向けデバイスビジネスを見据え、新拠点設立検討	＋５億
タイ	FA機器	・ASEAN地区への販路拡大 ➢ ローカルの新規顧客開拓（ターゲット顧客 約800社）	+5億
香港	デバイス	・日本国内約2千店舗をターゲットに流通量販店向け電子棚札の新分野開拓	+10億
上海	ＯＤＭ	・新規採用メーカの拡大(エアコン用リモコン）及び、取扱い製品の拡充（給湯器、ウォシュレット用等）	+6億
オランダ	オリジナル (OPCｻｰﾊﾞｰ)	・世界シェアアップに向けた新製品開発の加速 ➢ 海外主要PLCメーカとの接続性拡大 接続メーカ 100社　300シリーズ (従来比　+30社+100シリーズ) ➢ 海外販売店製品との親和性向上	+2億

“ＮＥＷたけびし“への革新

ビフォー

出 社 会 議 出 張 帰 社

在 宅 勤 務 ガ イ ド ラ イ ン を 制 定

アフター

新たな時間の創出

テレワーク Web会議

新たな時間の創出

スキルアップ・資格取得
推進

語学教室

自己研鑽

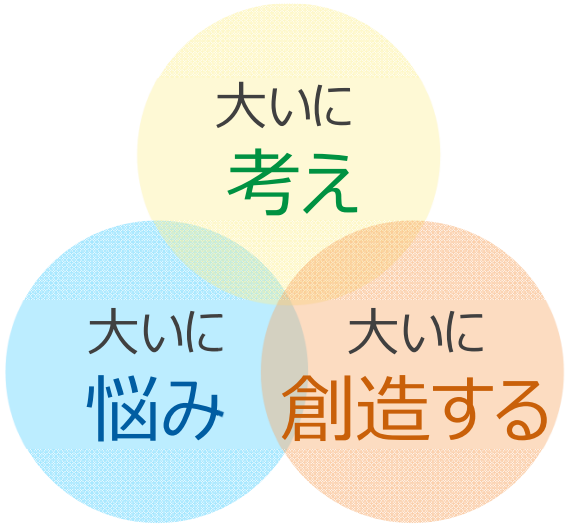
ジム

“たけびし” は もっと変わる

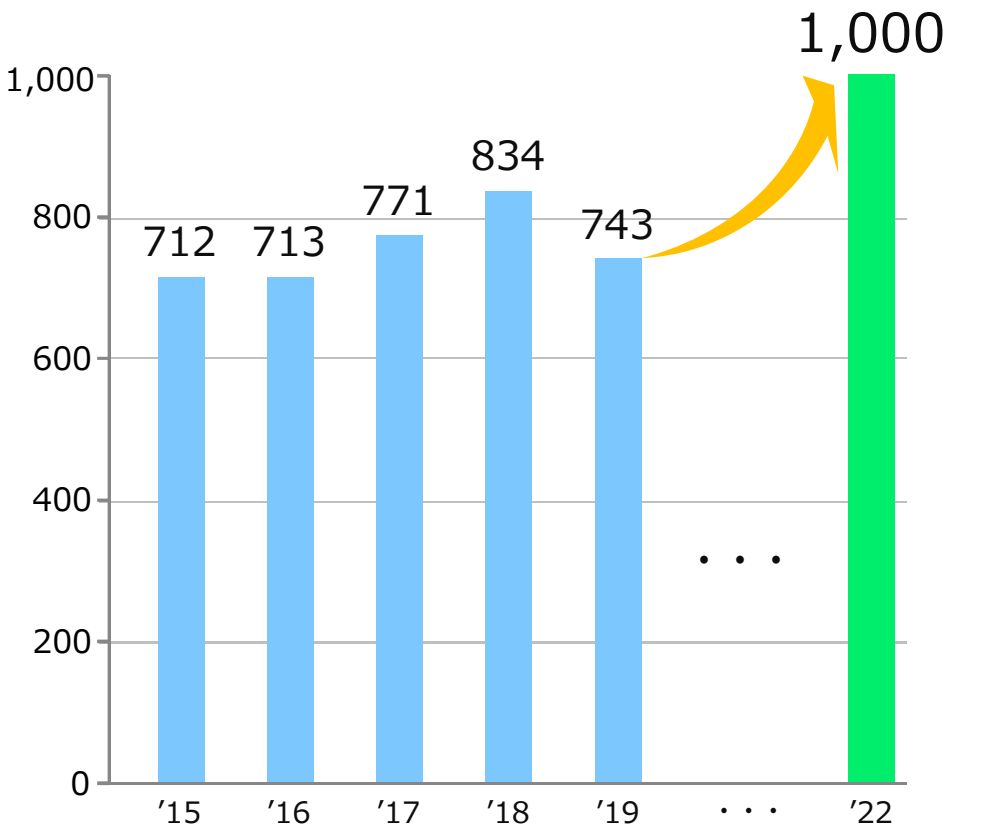
“解 決 力・創 造 力 ” の 醸 成

中期ビジョン　T - L i n k 1 0 0 0

コロナを通して現場が変わり、
“たけびし”はもっと変わる。



単位：億円



株式会社たけびし

（証券コード:7510）

経営戦略室　企画部